

ブドウ「ルビーロマン」のジベレリン処理・ 摘粒ノウハウの見える化

1 背景・目的

「ルビーロマン」は、果粒の大きさや糖度、果皮色などに厳しい出荷基準が設けられており、熟練の技術を要する管理作業が多いため、熟練農業者の経験や勘に基づくノウハウを他の農業者へ短期間に伝える方法が求められている。そこで、ジベレリン処理及び摘粒ノウハウの見える化について検討する。

2 技術のポイント

- (1) 熟練性が求められるジベレリン処理と摘粒作業について、熟練農業者の栽培ノウハウを画像等を使って見える化した学習用デジタルコンテンツ(以下、コンテンツ)を作成した(図1)。
- (2) コンテンツを30~50問程度学習することで、ジベレリン処理、予備摘粒、仕上げ摘粒、見直し摘粒の栽培技術が向上する(図2)。

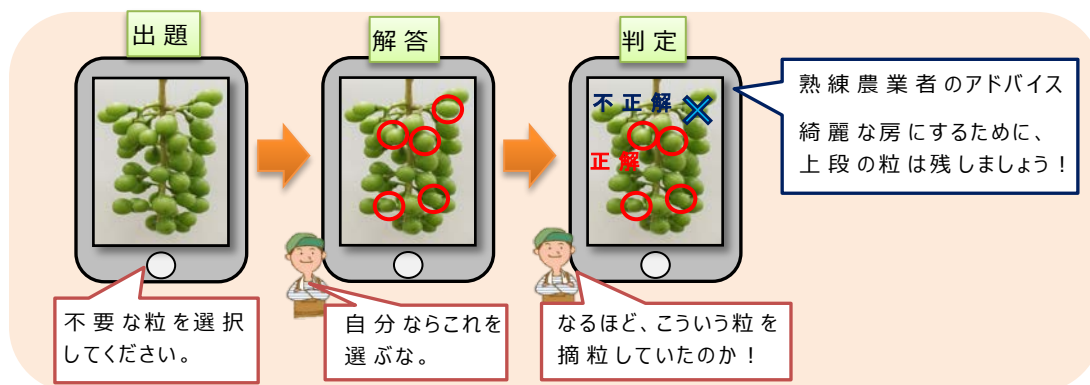


図1 学習コンテンツのイメージ

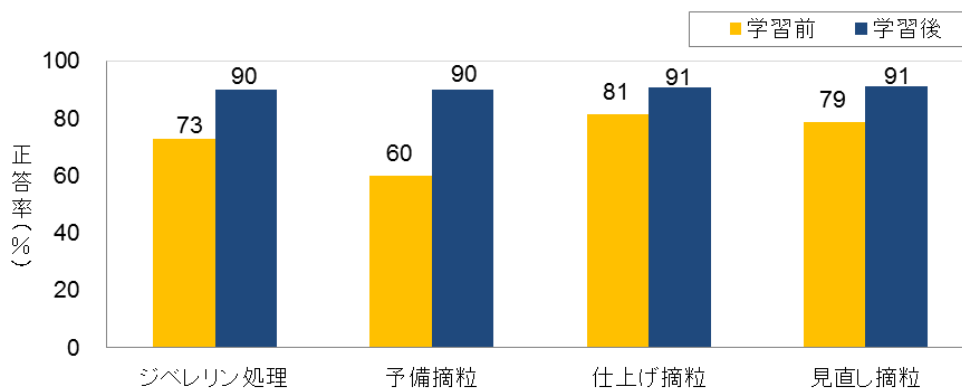


図2 ジベレリン処理、予備摘粒、仕上げ摘粒、見直し摘粒の学習効果

(タブレット端末で学習前後に異なる問題を延べ15名に回答させ、作業判断力などの正答率を比較)

3 成果の活用と留意点

コンテンツの利用はルビーロマン研究会会員に限られる。

問合せ先：砂丘地農業研究センター TEL 076-283-0073

担当者：山内大輔・高山典雄・山地梨紗

本研究は農研機構生研支援センター「革新的技術開発・緊急展開事業(うち人工知能未来農業創造プロジェクト)」の支援を受けて行った。